

平成 30 年度  
事 業 報 告

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

## 《 目 次 》

I 総 括 .....	1
II 平成 30 年度の具体的な施策	
アクションプラン1 スポーツ施策の一元化.....	2
アクションプラン2 障がい者スポーツ振興体制の整備.....	2
アクションプラン3 障がい者スポーツの普及・振興.....	7
アクションプラン4 国際競技力の強化.....	9
アクションプラン5 障がい者スポーツの国民理解の促進.....	18
アクションプラン6 障がい者スポーツの支援体制の充実.....	19
アクションプラン7 財政基盤の充実・安定化.....	20
アクションプラン8 協会の組織体制の強化.....	20
アクションプラン9 東京 2020 大会に向けた活動.....	21
その他 .....	22

## I 総括

本年度は、当協会が平成 25 年 3 月に公表した「日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)」において掲げている「活力ある共生社会の創造」の実現に向けて、①スポーツの普及拡大(裾野をひろげる)、②競技力の向上(山を高くする)の二本柱を基本としつつ、アクションプランに沿った取り組みを進めた。また、策定から 5 年を経過したビジョンに基づくアクションプランについては、昨年度、これまでの達成状況を確認しながら、5 年間の障がい者スポーツを取り巻く環境の変化や、平成 29 年 4 月に施行された第二期スポーツ基本計画などを盛り込むなどの見直しを行った。

障がい者スポーツの普及・振興については、都道府県・指定都市の障がい者スポーツ協会(以下「県等障がい者スポーツ協会」という)等に委託した振興事業やフェスティバル事業、全国障害者スポーツ大会や各種競技大会の開催、全国 8 ブロックにおける関係団体連絡協議会の開催、障がい者スポーツ指導者の養成などとおして、地域における障がい者スポーツの核となる県等障がい者スポーツ協会等の組織支援、障がい者が地域で日常的にスポーツに参加できる環境の整備及び行政や関係団体の協力・連携体制の強化などの活動を推進した。

国民への障がいの理解や障がい者スポーツの理解促進については、障がい者スポーツ体験会の開催やソーシャルメディアを活用した広報活動の促進、広報冊子の配布、ジャパンパラ競技大会等における障がい者スポーツの解説やファンづくり、支援企業による各種イベント開催などの活動を推進した。

競技力の向上については、東京 2020 特別強化委員会等において、選手の競技力向上、メダル目標達成に向けた取り組みを行った。また、平成 30 年 10 月に開催されたインドネシア 2018 アジアパラ競技大会では、金メダル 45 個、銀メダル 70 個、銅メダル 83 個、合計 198 個のメダルを獲得し、金メダルランキングは 4 位となり、前回大会を上回る成績となった。

さらに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、内閣府・スポーツ庁等関係機関・団体との連携を深め、民間企業からの支援充実などの取り組みを行った。障がい者スポーツ団体の基盤強化の観点からガバナンス体制構築やコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを行った。中でも、平成 30 年 12 月にスポーツ庁、JSC、スポーツ統括 3 団体の 5 者で新設された「スポーツ政策の推進に関する円卓会議」の下、スポーツのインテグリティ確保の観点から、協会としても中央競技団体のガバナンス確保に向けた取り組みに力を入れることになった。

## II 平成 30 年度の具体的な施策

### アクションプラン1. スポーツ施策の一元化

#### 1. スポーツ団体との連携

スポーツ庁(JSA)、日本オリンピック委員会(JOC)、日本スポーツ協会(JSPO)、日本スポーツ振興センター(JSC)、日本パラリンピック委員会(JPC)トップによる「5者協議」に参加した。

#### 2. 都道府県におけるスポーツ関係団体の連携支援

都道府県・指定都市行政、県等障がい者スポーツ協会、県等指導者協議会の3者による障がい者スポーツ連絡協議会を今年度も全国8ブロックで開催し、各都道府県・指定都市におけるスポーツの施策一元化とその動向や障がい者スポーツの地域振興体制の構築を進めるための情報交換や意見交換を行った。

#### 3. 学校教育の中での理解の促進

学校教育の中での障がい者スポーツの理解促進とスポーツ環境の充実を図った。

(1) 日本財団パラリンピックサポートセンターと日本パラリンピック委員会とで構成される「I'm POSSIBLE 日本版事務局」として、IPC 公認教材「I'm POSSIBLE」日本版の小学校版5ユニット、中高校生版8ユニットの新規作成と、I'm POSSIBLE についての教員研修等を実施し、普及・拡大に努めた。

(2) 全国の小学生を対象に「すごいぞ！パラリンピック」絵画・作文コンクールを実施し、各部門とも、金・銀・銅賞各1作品、優秀賞3作品、奨励賞3作品および都内の小学生を対象とした東京2020特別賞1作品の合計10作品(両部門合計20作品)を選出した。応募総数は894点。各部門の金・銀・銅賞および東京2020特別賞の受賞者を招待して、IPC 会長・CEO の臨席のもと、表彰式を実施した。

表彰式 期日 平成30年12月2日(日)

場所 日本障がい者スポーツ協会会議室

(3) UAE の副大統領、首相、ドバイ首長であるシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム氏が創設した、世界初のスポーツのクリエイティビティに関する分野を表彰するための賞である「ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム クリエイティブスポーツ賞 国際競技団体・各国パラリンピック委員会ベストイニシアチブ賞」をI'm POSSIBLE 日本版が受賞。日本版の作成および普及活動、将来的な影響や可能性が評価された。

### アクションプラン2. 障がい者スポーツ振興体制の整備

県等障がい者スポーツ協会の組織の運営支援の一環として、地域における障がい者スポーツの振興事業の拡充を図った。

障がい者スポーツ指導者の育成については、障がい者スポーツ指導者養成事業と障がい者スポーツ指導者の資質向上のための研修事業を実施した。また、技術委員会において指導者制度の見直しに関する議論を実施した。

総合型地域スポーツクラブに関しては、日本スポーツ協会が開催するクラブネットワークアクション事業に参画し、障がい者スポーツに関する情報共有を行った。

## 1. 障がい者スポーツ指導者の育成

### (1) 障がい者スポーツ指導者養成事業

#### 1) 初級及び中級障がい者スポーツ指導員養成講習会の認定

都道府県・指定都市、各県障がい者スポーツ協会・県指導者協議会、その他関係団体が実施する初級及び中級障がい者スポーツ指導員養成講習会の認定を行った。

【平成 30 年度 障がい者スポーツ指導員養成講習会】（協会委託事業分を除く）

（平成 31 年 2 月 13 日現在）

#### ・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会（計 64 カ所）

都道府県・ブロック主催 44 カ所

政令指定都市及びその他市区町村主催 19 カ所

その他関係団体主催 1 カ所

#### ・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会（計 8 カ所）

①初級障がい者スポーツ指導員対象（都道府県主催）4 カ所

②日本スポーツ協会公認指導者対象（都道府県主催）1 カ所

③理学療法士対象（日本理学療法士協会主催）2 カ所（都道府県主催）1 カ所

### (2) 障がい者スポーツ指導員等各種講習会の開催

JPSA が主催して行う障がい者スポーツを支える指導者の養成及び専門性の高い有資格者の育成並びに資格保有者のレベルアップにつながる講習会、研修会を開催した。

講習会名	開催期日	開催場所	受講者数
上級障がい者スポーツ指導員養成講習会	前期 平成 30 年 8 月 30 日(木)～9 月 2 日(日) 後期 平成 30 年 11 月 3 日(土)～6 日(火)	東京都障害者総合スポーツセンター	47 名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(1)	前期 平成 30 年 7 月 18 日(水)～22 日(日) 後期 平成 31 年 1 月 23 日(水)～27 日(日)	いしかわ総合スポーツセンター	27 名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(2) ※日本スポーツ協会公認指導者対象	平成 30 年 10 月 25 日(木)～28 日(日)	福岡市立障がい者スポーツセンター	26 名
中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(3) ※日本スポーツ協会公認指導者対象	平成 31 年 1 月 11 日(金)～14 日(月・祝)	東京都障害者総合スポーツセンター	44 名
障がい者スポーツコーチ養成講習会	前期 平成 30 年 6 月 22 日(金)～24 日(日) 後期 平成 30 年 12 月 7 日(金)～9 日(日)	国立スポーツ科学センター 味の素ナショナルトレーニングセンター	22 名 (合格者)
障がい者スポーツトレーナー養成講習会	1 次 平成 30 年 7 月 27 日(金)～29 日(日) 2 次 平成 31 年 2 月 7 日(木)～10 日(日)	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール	26 名 (合格者)
障がい者スポーツ医養成講習会	平成 31 年 2 月 22 日(金)～24 日(日)	国立障害者リハビリテーションセンター	67 名
全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会	平成 30 年 7 月 7 日(土)・8 日(日)	茨城県水戸生涯学習センター	61 名

講習会名	開催期日	開催場所	受講者数
障がい者スポーツトレーナー スキルアップ研修会	平成30年11月23日(金・祝)・24日(土)	愛知医療学院短期大学	39名
資格取得認定校研修会	平成31年1月16日(水)	全国障害者総合福祉センター 戸山サンライズ	43名
第14回障がい者スポーツ 指導者全国研修会	平成30年12月15日(土)・16日(日)	県立広島大学	214名

## 2. 県等障がい者スポーツ協会の運営支援

### 地域における障がい者スポーツの振興事業

身近な地域において障がい者がスポーツに参加できる環境づくりを目指し、都道府県の障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツ指導者や関係団体と連携して行う、障がい者向けのスポーツ教室や障がい特性を踏まえたスポーツイベント等の開催に対し助成した。

No.	団体名	委託費 (万円)	受託 数	事業名／内容
1	公益財団法人 北海道障がい者スポーツ協会	50	5年目	北海道における障がい児者スポーツ拠点づくりプロジェクト事業 ① 全道障がい児者スポーツ拠点づくりプロジェクト事業
2	一般社団法人 岩手県障がい者スポーツ協会	100	2年目	共生型障がい者スポーツ連携推進事業 ① スポーツ教室開催事業(障害者スポーツセンター連携事業) ② 各市町村連携及び地域人材活用事業
3	宮城県障害者スポーツ協会	150	3年目	宮城県障害者スポーツ振興事業 ① 障害児運動・あそびの広場開催事業 ② 宮城県障がい者スポーツフォーラム開催事業
4	茨城県障害者スポーツ・文化協会	50	初	茨城県障害者スポーツ振興事業 ① 障害者スポーツ地域振興事業
5	一般社団法人 埼玉県障害者スポーツ協会	100	6回目	埼玉県障がい者スポーツ地域連携づくり事業 ① 障がい者スポーツ地域連携づくり事業(秩父地域)
6	公益財団法人 長野県障がい者スポーツ協会	100	3年目	長野県障がい者スポーツ活動環境推進事業 ① 障がい者スポーツ体験教室開催事業 ② キッズ支援事業(指導員派遣、サマーキャンプ、チアダンス、野球教室)
7	三重県障がい者スポーツ協会	180	2年目	三重県障がい者スポーツ振興事業 ① 三重県障がい者スポーツフェスティバル2018 ② 地域障がい者スポーツ教室 ③ 陸上競技チームづくり支援事業 ④ 水泳指導者、支援者育成事業
8	滋賀県障害者スポーツ協会	100	初	滋賀県障害者スポーツ振興事業 ① 障害者スポーツ広場事業 ② 競技別チャレンジスポーツ教室事業
9	公益財団法人 兵庫県障害者スポーツ協会	150	4回目	障がい者スポーツ連携推進プロジェクト2018 ① 障害者スポーツ教室事業「カヌー普及体験プログラム」 ② 障害者スポーツ理解啓発事業「地域・継続・大学」 ③ 組織連携推進強化事業「地域・組織をつなげる第一歩」

No.	団体名	委託費 (万円)	受託 数	事業名／内容
10	和歌山県障害者スポーツ協会	130	2年目	和歌山県における障害者スポーツの振興事業 ① 障がい者スポーツ開催事業 ② 障がい者スポーツ活性化事業(団体競技重点的強化事業)
11	一般社団法人 広島県障害者スポーツ協会	130	3年目	広島県における障害者スポーツ振興・地域推進事業 ① 地域推進事業(スポーツ推進委員等を対象にしたスポーツ体験事業) ② 障がい者スポーツ体験会(各市町開催) ③ 普及啓発イベント ④ 障がい者スポーツ体験会(特別支援学校) ⑤ 障がい者スポーツ体験会(特別支援学校教員対象)
12	公益社団法人 山口県障害者スポーツ協会	100	6年目	山口県における障害者スポーツ推進事業 ① 地域障害者スポーツ教室の開催事業 ② 障害者交流スポーツ大会開催事業
13	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	50	4回目	障害者スポーツ普及啓発事業 ① 東部地区ポッチャ競技大会 ② 種まく大人たちの勉強会事業
14	愛媛県障がい者スポーツ協会	50	5年目	愛媛県障がい者スポーツ普及啓発事業 ① 障がい者スポーツ紹介事業(体験会)
15	一般社団法人 佐賀県障がい者スポーツ協会	150	初	佐賀県障がい者スポーツ普及推進事業 ① 障がい者スポーツフェスタ in とす ② 鳥栖地域における障害者スポーツ教室(地域連携事業)
16	大分県障がい者体育協会	180	2回目	障がい者スポーツ交流事業 ① 障がい者スポーツ体験会 ② 子どもふれあい交流事業
17	特定非営利活動法人 沖縄県障がい者スポーツ協会	50	6年目	おきなわスポーツドリームプロジェクト2018 ② 障がい者スポーツ指導員ドリームフェスタ ③ 障がい者バスケットボール教室
合計		1,820		

### 3. 障がい者スポーツ指導者の派遣事業

都道府県・指定都市の障がい者スポーツ協会が、近隣の特別支援学校・学級などの教育機関または教員等と連携・協働し、障がい児・者のスポーツ環境に対する更なる充実化や障がい者スポーツ指導者の活動の拡充など障がい者のスポーツ振興体制整備に寄与することを目的とし、地域の特別支援学校および学級へ公認障がい者スポーツ指導者を派遣し、学校及び学級の在籍児および地域の障がい児・者に対し多様なスポーツ機会の提供と技術的な指導を行い、また、身近な指導者を派遣し、学校の設備を使用することで、日常的かつ継続的にスポーツへ触れる機会の定着化を目指し実施する事業に対し助成した。

No.	受託団体名	委託金額 (千円)	事業名
1	一般社団法人 群馬県障害者スポーツ協会	240	高等特別支援学校の部活動を中心にした学校卒業後のスポーツ環境整備
2	大阪府障がい者スポーツ協会	255	大阪府内 支援学校・学級等 スポーツ指導員派遣事業「学校でいっしょにスポーツしよう！」
合計		495	

#### 4. 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会等開催事業(協会委託事業分)

県等障がい者スポーツ協会等が開催する初級、中級障がい者スポーツ指導員養成講習会や指導者の資質向上のための研修会に対し助成し、地域振興に欠かせない人材養成に積極的に取り組む為の事業を推進した。

No.	都道府県・市	委託費 (万円)	団体名	事業区分 ※	名称
1	岩手県	60	一般社団法人 岩手県障がい者スポーツ協会	中級②	理学療法士のための中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
2	茨城県	60	茨城県障害者スポーツ・文化協会	中級②	平成30年度 茨城県理学療法士中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
3	群馬県	25	群馬県障害者スポーツ協会	初級①	群馬県初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
4	石川県	25	石川県障害者スポーツ協会	初級①	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(小松会場)
5	岐阜県	25	一般社団法人 岐阜県障害者スポーツ協会	初級②	平成30年度 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
6	大阪市	25	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会	初級②	平成30年度 大阪市スポーツ推進委員対象 障がい者スポーツ指導員養成講習会(初級)
7	兵庫県	25	公益財団法人 兵庫県障害者スポーツ協会	初級①	第40回 兵庫県障がい者スポーツ指導員養成講習会
8	神戸市	25	社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会	初級②	平成30年度 第31回初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
9	和歌山県	25	和歌山県障害者スポーツ協会	初級①	平成30年度 和歌山県障がい者スポーツ指導員養成講習会
10	鳥取県	100	一般社団法人 鳥取県障がい者スポーツ協会	中級①	平成30年度 鳥取県中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
11	島根県	25	公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会	初級①	平成30年度 島根県障がい者スポーツ指導員養成講習会
12	広島県	100	一般社団法人 広島県障害者スポーツ協会	中級①	平成30年度 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
13		60	一般社団法人 広島県障害者スポーツ協会	中級②	平成30年度 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(理学療法士対象)
14	山口県	60	公益社団法人 山口県障害者スポーツ協会	中級②	理学療法士対象 平成30年度 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
15	徳島県	25	徳島県障がい者スポーツ協会	初級②	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
16	北九州市	25	北九州市障害者スポーツ協会	初級②	平成30年度 初級障がい者スポーツ指導員養成特別講習会
17	福岡市	100	福岡市障がい者スポーツ協会	中級①	平成30年度 福岡市中級障がい者スポーツ指導員養成講習会
18	佐賀県	25	一般社団法人 佐賀県障がい者スポーツ協会	初級①	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(佐賀)
19	鹿児島県	55	鹿児島県障害者スポーツ協会	中級②	平成30年度 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(理学療法士対象)
20	沖縄県	25	特定非営利活動法人 沖縄県障がい者スポーツ協会	初級①	沖縄県初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
21		30	特定非営利活動法人 沖縄県障がい者スポーツ協会	スキルアップ	沖縄県障がい者スポーツ指導員スキルアップ研修会
合計		925			

事業区分	委託費 (万円)	事業内容
初級①	30	現在、初級講習会を公的な助成金ではなく、自主財源で実施している地域や新たに追加し複数会場で開催する地域が対象となります。
初級②	30	教員(特別支援学校、学級含む)、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブスタッフ等、地域の実情に応じて新たな受講者層を対象とした講習会となります。
中級①	120	初級障がい者スポーツ指導員を対象にした中級講習会となります。
中級②	60	日本スポーツ協会公認指導者、日本理学療法士協会登録PTを対象にした中級講習会となります。 開催には県体育協会及び理学療法士会との連携、協力が必要になります。
スキルアップ	70	公認障がい者スポーツ指導員を対象に資質向上を目的とした研修会となります。

## 5. 総合型地域スポーツクラブでの障がい者スポーツ導入の推進

### 日本スポーツ協会「クラブネットワークアクション」への協力

全国9ブロックで総合型地域スポーツクラブ関係者が一堂に会し、クラブの運営に必要な情報や課題解決に向けた具体的な取り組み事例等について情報共有を行い、クラブ育成・支援のためのネットワーク強化と連携体制をより一層促進することを目的に開催されている事業の共通プログラムに参画し、障がい者の身近な地域にある総合型地域スポーツクラブへの参加を促進するための環境づくりに向けた取り組みへの支援・協力を行った。

## アクションプラン3. 障がい者スポーツの普及・振興

### 1. 第18回全国障害者スポーツ大会(福井大会)

前年同様、本大会・リハーサル大会で実施される全13競技に20名の競技別技術指導員を派遣し、開催県の主管競技団体等と連携し、競技規則に沿った競技運営支援を行った。

本大会終了後の報告をもとに現状の大会、競技運営の課題やその改善策等を検討し、次年度以降の円滑な競技運営を図ることとした。

#### (1)本大会(公益財団法人JKA補助事業)

期 日 平成30年10月13日(土)～15日(月)

※車いすバスケットボールは国体開催中である10月6日(土)～8日(月・祝)に実施

開閉会式会場 福井県営陸上競技場

愛 称 福井しあわせ元気大会

大会スローガン 織りなそう カと技と美しさ

参加人数 約5,500名(選手/約3,500名・役員/約2,000名)

#### (2)地区予選会(公益財団法人JKA補助事業)

会 期 平成30年4月～6月

内 容 ブロック(北海道・東北ブロック、関東ブロック、北信越・東海ブロック、近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州ブロック)ごとに身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の団体競技について予選を行った。

### 2. 全国障害者スポーツ大会の内容充実

#### (1)第1回全国障害者スポーツ大会 大会委員会の開催

日 時 平成31年2月20日(水) 13:30～15:30

会 場 東京シティ・エアターミナル会議室

議 題 開催基準要綱の見直し等について

#### (2)全国障害者スポーツ大会技術指導員の派遣報告会

期 日 平成31年1月10日(木)、11日(金)

会 場 日本障がい者スポーツ協会 会議室

内 容 第18回全国障害者スポーツ大会(福井大会)の全13競技に派遣された競技別技術指導員より、大会へ参加した選手の状況や大会運営、競技運営等の現状や課題の報告を受け、今後の競技規則の改正も含めた、競技運営のあるべき姿について意見交換を行った。

### 3. スポーツイベントの開催

#### 障がい者スポーツ理解促進フェスティバル開催事業(ジャパンスポーツフェスタ)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、国内のスポーツ環境が大きく変化中、スポーツ関係団体の連携・協力と、障がい者のスポーツ参加の促進に向けた取組みとして、日本のスポーツを統括する日本スポーツ協会と日本オリンピック委員会、日本障がい者スポーツ協会の 3 組織が協力し実施した。障がい者スポーツの体験等を通して、障がいの有無に関わらずスポーツの楽しさや喜び、スポーツの価値を共有し、その重要性を広く啓発すること、また、あらゆる人々がスポーツを享受し、福祉豊かな地域生活の創造に向けて、障がい者スポーツ推進体制の整備を図ることを目的に開催した。

No.	開催地	事業名/後援・協力団体	開催日/会場
1	静岡県	ジャパンスポーツフェスタ In 静岡	平成 30 年 11 月 11 日(日)
		静岡県、公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会、公益財団法人静岡県体育協会、一般財団法人静岡県サッカー協会、特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会、公益社団法人静岡県理学療法士会、静岡県レクリエーション協会、静岡県スポーツ推進委員連絡協議会、静岡県障害者スポーツ指導者協議会、アシックスジャパン株式会社	静岡県小笠山 総合運動公園エコパ エコパアリーナ
2	愛媛県	ジャパンスポーツフェスタ In 愛媛	平成 31 年 1 月 19 日(土)
		愛媛県、愛媛県教育委員会、愛媛県障がい者スポーツ協会、公益財団法人愛媛県スポーツ協会、公益財団法人愛媛県スポーツ振興事業団、愛媛県スポーツ少年団、愛媛県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、愛媛県スポーツ推進委員協議会、えひめ広域スポーツセンター、NPO 法人愛媛県レクリエーション協会、愛媛県身体障がい者福祉センター、サン・アビリティーズ今治、愛媛県障がい者スポーツ指導者協議会、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟、公益社団法人愛媛県理学療法士会、一般社団法人愛媛県バスケットボール協会、アシックスジャパン株式会社	愛媛県身体障がい者 福祉センター

### 4. 調査研究事業

#### (1) 専門委員会等で調査研究事業を実施

##### 日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員実態調査

公認障がい者スポーツ指導員が地域の活動現場で抱えている不安や問題点など現状を把握することや、今後の協会における指導者育成ならびに地域振興に向けた取組について検討することを目的に、平成 29 年度に実施した公認障がい者スポーツ指導員の実態調査の結果に対して追跡調査(分析および考察)を行った。調査は有識者(5 名)により専門委員会を設置して行い、分析内容をもとに報告書を作成した。

##### 1) 第 1 回委員会

日時 平成 30 年 10 月 5 日(金)15:00~18:00

会場 日本福祉大学美浜キャンパススポーツ科学棟 1 階ミーティングルーム

##### 2) データ分析会議

日時 平成 30 年 11 月 13 日(火)10:00~14:00

会場 京都キャンパスプラザ

##### 3) 第 2 回委員会

日時 平成 30 年 12 月 11 日(火)13:00~17:00

会場 日本障がい者スポーツ協会 会議室

#### 4) 第3回委員会

日時 平成31年2月27日(水)10:00～14:00

会場 日本障がい者スポーツ協会 会議室

### アクションプラン4. 国際競技力の強化

#### 1. 国際障がい者スポーツ総合大会への選手および役員の派遣

##### (1) インドネシア 2018 アジアパラ競技大会

大会名称	インドネシア 2018 アジアパラ競技大会
大会テーマ	The Inspiring Spirit and Energy of Asia
大会期間	平成30年10月6日(土)開会式～13日(土)閉会式(8日間)
開催地	インドネシア・ジャカルタ
運営主体	アジアパラリンピック委員会(APC) インドネシア 2018 アジアパラ競技大会組織委員会(INAPGOC)
参加国・地域	43カ国(前回41カ国:韓国/インチョン)
実施競技	18競技 558種目
特記事項	・アジア大会組織委員会とは別の組織委員会が実施 ・過去最高の43NPCが参加 ・南北統一コリアの参加(入場行進、水泳と卓球のチーム種目でメダル獲得) ・金メダルの1/3強を中国選手団が獲得 ・6NPCが100個以上のメダルを獲得 ・26NPCが陸上競技で、19NPCがパワーリフティングで、18NPCが水泳と卓球でメダルを獲得 ・全参加43NPCのうち、10NPCがメダル獲得0
日本代表選手団	選手304名、競技パートナー12名、役員147名、本部21名 合計484名 (※前回:選手・競技パートナー302名 役員174名 計476名)
役員	団長 大前千代子(JPSA 理事) 副団長 大槻洋也(JPC 強化委員長) 中森邦男(JPC 事務局長) 主将 鈴木孝幸(水泳) 旗手 前川 楓(陸上競技)
成績	金メダル45個 銀メダル70個 銅メダル83個 合計198個 ・金メダルランキングは、中国、韓国、イランに次いで4位 ・総メダル数では、中国に次いで2位 ・パラリンピック競技の金メダルランキングは、中国、イランに次いで3位 ・水泳、陸上競技、車いすフェンシングとバドミントンが前回の大会から、メダル数を5個以上増やした。特に水泳は金メダル7個、総メダル28個を増やす。 ・車いすテニスは実施6種目すべてに決勝進出、金メダル4個獲得した。 ・前回大会より金メダル数を3競技増やした。

#### 2. 競技団体が行う強化活動に対する助成(補助)

##### (1) 助成金(補助金)配分方針

パラリンピック等の競技実績等による基礎配分と、重点強化指定競技への特別配分により、

対象競技団体の助成額を設定した。

(2)対象団体

日本パラリンピック委員会に加盟する以下の競技団体とした。

- 1) 肢体不自由、視覚障がい関連競技団体(35 団体)
- 2) 聴覚障がい関連競技団体(20 団体・ろうあ連盟スポーツ委員会含む)
- 3) 知的障がい関連競技団体(8 団体・全日本知的障害者スポーツ協会含む)

(3)対象事業

1)選手強化活動事業

①選手強化活動事業

競技団体の強化指定選手を対象とした国内外で実施する強化合宿及び海外へのチーム派遣または海外チームの招聘等を行った。

②コーチ力強化事業

海外の優秀なコーチの招聘または海外へのコーチ派遣を行った。

③競技団体選手強化体制整備事業

競技団体における国際競技力向上のための強化活動にかかる強化委員会等の会議の開催や競技大会の視察及びその他強化体制の整備を図るための事業を行った。

3. 専任スタッフ設置事業

パラリンピック競技大会をはじめとする国際競技大会で活躍が期待できる競技者を有する JPC 加盟団体および本会に、強化活動全般を統括するナショナルコーチや専任コーチングディレクター、専任メディカルスタッフ、専任情報・科学スタッフ、専任クラシファイア、専任競技パートナー、専任競技用具担当スタッフを設置し、選手の育成・強化を効果的に推進した。

4. JPC 医・科学・情報サポート推進事業

JPC 加盟団体(パラ実施競技団体)を対象に、日本代表選手の競技力強化のために、医・科学・情報面の支援および体制構築を行った。

(1)医・科学・情報分野の理解および活用技術向上のための研修会(競技団体スタッフ・選手対象)の開催。

①新人アスリート研修会

主にパラリンピック実施競技団体で強化指定されて間もない選手を対象とし、パラリンピックの歴史、アンチ・ドーピング、コンプライアンス等の内容に加えアスリートとして身につけておくべき基本的な心理・栄養等の知識の習得を目的とする。本研修会を通して模範となるアスリートの育成するための研修会。

第1回 参加者:38名(うち選手27名) 会場:味の素ナショナルトレーニングセンター

第2回 参加者:30名(うち選手16名) 会場:大阪府立大学 I-site なんば

第3回 参加者:31名(うち選手21名) 会場:日本障がい者スポーツ協会

②複数領域研修会 ※パラ実施競技団体以外も対象

最新の研究内容やサポート結果に基づき、選手の競技力向上に直結した研修を実施。基本的な内容ではなく、より実践的・応用的な内容を提供した。

第1回 22名 会場:味の素ナショナルトレーニングセンター

第2回 29名 会場:大阪府立大学 I-site なんば

第3回 30名 会場:日本障がい者スポーツ協会 4階会議室

(2)競技団体への医・科学・情報サポート支援 ※( )内は件数

6 領域(栄養(32)・心理(51)・映像技術(18)・フィジカルチェック(18)・バイオメカニクス(15)・

トレーナー支援(2)で競技団体実施の合宿・大会派遣に支援を行った。

※計 136 件(2月21日現在)

(3) サポートスタッフリーダー会議・領域会議の開催

6 領域の代表者による会議と、領域内で各担当によるサポート内容の共有の為の連携会議を行った。

5. 競技団体関連会議の開催

JPC 加盟競技団体の担当者等の連携強化のために、各会議を開催した。

(1) JPC 加盟競技団体会議

第1回 日時 平成30年4月21日(土)12:00~14:45

場所 味の素ナショナルトレーニングセンター

第2回 日時 平成31年3月5日(火)9:00~11:30

場所 ベルサール東京日本橋 B2 ホール

(2) 監督・ヘッドコーチ会議(パラリンピック実施競技対象)

第1回 日時 平成30年4月21日(土)16:00~17:15

場所 味の素ナショナルトレーニングセンター

第2回 日時 平成31年1月16日(水)9:30~12:30

場所 国立スポーツ科学センター/JISS

(3) チームドクター連絡会議(パラリンピック実施競技対象)

第1回 日時 平成31年1月27日(日)13:00~15:30

場所 日本障がい者スポーツ協会

(4) トレーナー連絡会議(パラリンピック実施競技対象)

第1回 日時 平成30年4月21日(土)16:00~17:15

場所 味の素ナショナルトレーニングセンター

第2回 日時 平成30年11月16日(金)13:00~17:00

場所 味の素ナショナルトレーニングセンター

(5) 東京2020パラリンピック対策会議(夏季パラリンピック実施競技対象)

第1回 日時 平成30年9月4日(火) 15:30~17:30

場所 日本財団ビル会議室

(6) アンチ・ドーピング担当者連絡会議

第1回 日時 平成30年7月29日(日)12:30~16:30

場所 TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター

6. 強化活動実施状況の視察

強化活動が効果的に実施されているかを判断するとともに今後の強化計画に反映することを目的として、競技団体が行う強化活動や国内で実施される競技大会を視察した。

7. 競技別指導者講習会及び国際資格取得・更新講習会助成事業

本会が制定する「公認障がい者スポーツ指導者制度」に基づく障がい者スポーツコーチ、障がい者スポーツ医、障がい者スポーツトレーナー養成講習会での指導者養成のほか、各競技団体が開催する指導者の養成及び資質向上のための支援を行った。

(1) JPC 加盟競技団体に対し、海外で開催される国際資格取得・更新講習会への派遣経費を助成するとともに、国内講習会の開催費用への助成。

委託契約:9 競技団体 15 事業(国際クラシファイア、国際競技役員資格取得等)

(2)JPC 加盟競技団体が開催する指導者養成・育成・資質向上のための講習会・研修会への助成。

委託契約:7 競技団体7 事業(競技役員、審判員、国内クラス分け役員の養成 等)  
(平成30年5月1日現在)

## 8. 選手強化対策委員会の開催

### (1)JPC 運営委員会

第1回 平成30年6月5日(火)

第2回 平成30年8月24日(金)

第3回 平成31年3月18日(月)

### (2)JPC 東京2020 特別強化委員会→アクションプラン9へ

### (3)JPC 強化委員会

第1回 平成30年4月21日(土)

第2回 平成30年6月2日(土)

第3回 平成30年8月17日(金)

第4回 平成30年11月19日(月)

第5回 平成31年3月12日(火)

### (4)JPC アスリート委員会

幹事会 平成30年10月29日(月)

総会 平成31年1月12日(土)

### (5)JPC 女性スポーツ委員会→アクションプラン6へ

### (6)競技団体に対する強化計画ヒアリング

### (7)スポーツ庁、JSC、JOCとの「協働チーム」への参画

## 9. アンチ・ドーピング活動の推進

### (1)教育・啓発活動

アンチ・ドーピング研修会 33 競技団体/33 回実施

アウトリーチプログラム 9 回実施

### (2)競技会検査・競技会外検査

競技会検査 12 競技/24 回実施

ジャパンパラ競技大会 6 回実施

競技会外検査を実施

### (3)使用薬物指導

使用薬物事前調査

TUE 申請

## 10. 競技団体等の国際活動への支援

### (1)国内競技団体の国際活動への支援

### (2)国際競技大会・国際会議招致のための活動

### (3)国際組織との連絡調整

国際パラリンピック委員会をはじめとする国際組織に加盟し、連絡・調整を図るため、各種国際会議に参加した。

#### 【IPC・アギトス基金関係】

##### 1) IPC 理事会

- 第1回 日程 平成30年6月22日(金)～24日(日)  
場所 ドイツ/ボン
- 第2回 日程 平成30年9月10日(月)～11日(火)  
場所 スペイン/マドリード
- 第3回 日程 平成31年1月24日(木)～27日(日)  
場所 イギリス/ロンドン

## 2) IPC その他

- ① IPC教育委員会委員推薦に関するIPC・アギトス基金との打合せ  
日程 平成30年4月18日(水)～19日(木)  
場所 イギリス/ロンドン
- ② World Shooting Para Sport スポーツフォーラム  
日程 平成30年5月6日(日)  
場所 韓国/チョンジュ
- ③ NPC/IF 合同クラス分け会議  
日程 平成30年7月15日(日)～16日(月)  
場所 ドイツ/ボン
- ④ NPC組織力強化のための研修会(OCPI)講師養成講習会  
日程 平成30年8月10日(金)～13日(月)  
場所 アラブ首長国連邦/ドバイ  
※アジア地域からは初となるOCPI講師の資格を取得した。
- ⑤ NPC Gathering  
日程 平成30年9月7日(金)～9日(日)  
場所 スペイン/マドリード
- ⑥ NPC組織力強化のための研修会(南アジア)  
日程 平成30年11月26日(月)～30日(金)  
場所 インド/ニューデリー

## 【APC関係】

### 1) APC 総会

- 日程 平成31年2月5日(火)～6日(水)  
場所 アラブ首長国連邦/ドバイ  
内容 総会で水野正幸 JPC 副委員長が、APC 副会長として再選された。  
麻生学アドバイザーも東アジア代表として APC 理事に任命された。

### 2) APC 理事会

- 第1回 日程 平成30年6月28日(木)～29日(金)  
場所 インドネシア/ジャカルタ
- 第2回 日程 平成30年10月4日(木)  
場所 インドネシア/ジャカルタ
- 第3回 日程 平成31年2月2日(土)  
場所 アラブ首長国連邦/ドバイ
- 第4回 日程 平成31年2月6日(水)  
場所 アラブ首長国連邦/ドバイ

### 3) APC その他

- ① APC アンチ・ドーピング会議

- 日程 平成30年4月4日(水)  
場所 マレーシア／クアラルンプール
- ② アジアパラ競技大会  
第1回大会調整委員会・団長会議および第1回プロジェクトレビュー  
日程 平成30年4月10日(火)～4月14日(土)  
場所 インドネシア／ジャカルタ
- ③ アジアパラ競技大会 第2回プロジェクトレビュー  
日程 平成30年6月26日(火)～27日(水)  
場所 インドネシア／ジャカルタ
- ④ アジアパラ競技大会 第2回大会調整委員会  
日程 平成30年8月3日(金)～4日(土)  
場所 インドネシア／ジャカルタ
- ⑤ アジアパラ競技大会 第3回プロジェクトレビュー  
日程 平成30年9月10日(月)～11日(火)  
場所 インドネシア／ジャカルタ
- ⑥ アジアパラ競技大会出席(APC 役員として)  
日程 平成30年10月1日(月)～15日(土)  
場所 インドネシア／ジャカルタ

#### 【他国 NPC 関係】

- 1) NPC カザフスタン NTC 開所式  
日 程 平成30年7月4日(水)～5日(木)  
場 所 カザフスタン／アスタナ  
参加者 当協会より2名参加
- 2) NPC フランス来訪(情報交換会)  
日 程 平成30年5月14日(月)  
場 所 日本障がい者スポーツ協会  
参加者 NPC フランス／JPC
- 3) NPC カナダ来訪(情報交換会)  
日 程 平成30年6月6日(水)  
場 所 日本障がい者スポーツ協会  
参加者 NPC カナダ／JPC
- 4) NPC カナダ来訪(NF 間情報共有会議)  
日 程 平成30年8月22日(水)  
場 所 日本青年館  
参加者 NPC カナダ／JPC  
カナダ NF(陸上競技・水泳・ウィルチェアーラグビー)  
日本 NF(陸上競技・水泳・ウィルチェアーラグビー)
- 5) NPC 韓国来訪(NF 間情報共有会議)  
日 程 平成30年11月6日(火)  
場 所 日本財団パラリンピックサポートセンター  
参加者 NPC 韓国／JPC  
韓国 NF(車いすバスケットボール・バドミントン・卓球・ボッチャ)  
日本 NF(車いすバスケットボール・卓球・ボッチャ)

6)NPC ルワンダ来訪(情報交換会)

日 程 平成 31 年 1 月 29 日(火)  
場 所 日本障がい者スポーツ協会  
参加者 NPC ルワンダ/JPC  
筑波大学つくば国際スポーツアカデミー担当教授

(4)国際貢献活動の推進

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたスポーツを通じた国際貢献事業である Sport for Tomorrow について、継続して事業を実施した。

1)国際協力機構(JICA) 報告会

日 程 平成 30 年 7 月 4 日(水)、7 月 27 日(金)  
場 所 国際協力機構(JICA)・東京  
主 催 国際協力機構(JICA)

2)I'm POSSIBLE 海外普及事業

日 程 平成 30 年 11 月 6 日(火)~8 日(木)  
場 所 シンガポール  
参加者 シンガポール国内の 94 の幼稚園・小学校・中学校教員約 100 名  
その他 アギトス基金・JSC・JPC の三者の協働により実施した。3 月にはフォローアップ研修を実施した。JPC は研修のファシリテーターを行うとともに、日本での I'm POSSIBLE 普及に関する構造や経験についての講義を行った。

(5)国際展開基盤形成事業

スポーツ庁のスポーツ国際戦略に基づき、日本の国際的なプレゼンスを向上させていくことを目的として、国際組織での役員選挙対策および将来の役員候補となる人材の養成を行った。

【役員選挙対策関係】

1)2018 北九州ワールドパラパワーリフティング アジア&オセアニアオープン選手権大会

日 程 平成 30 年 9 月 7 日(金)~8 日(土)  
場 所 北九州芸術劇場(福岡県北九州市)  
その他 開会式へ APC 役員(水野 APC 副会長・麻生 APC 理事)を派遣し、2 月の理事選挙を控えロビイング活動を行った。

2)APC アスリート委員選挙立候補に伴う選挙活動のためのロビイング

日 程 平成 30 年 10 月 5 日(金)~10 月 15 日(月)  
場 所 インドネシア/ジャカルタ  
その他 インドネシア 2018 アジアパラ競技大会期間中に実施されるアスリート委員選挙に立候補した河合純一氏のロビイング活動を行い当選した。その後副委員長に任命された。

3)APC 副会長選挙立候補に伴う選挙活動のためのロビイング

日 程 平成 31 年 2 月 2 日(土)~7 日(木)  
場 所 アラブ首長国連邦/ドバイ  
その他 APC 総会中に実施される APC 理事選挙に副会長として立候補した水野正幸氏のロビイング活動を行い当選した。

【人材育成関係】

1)国際人養成研修

日 程 平成 30 年 8 月 31 日(金)、9 月 1 日(土)  
場 所 日本障がい者スポーツ協会 4階 大会議室

- 参加者 14名  
 2)パラリンピアンリーダー研修(PAJ 理事会編)  
 日程 平成30年12月16日(日)  
 場所 日本財団パラアリーナ  
 参加者 11名  
 3)パラリンピアンリーダー研修(JPC アスリート委員会編)  
 日程 平成31年1月12日(土)  
 場所 国立スポーツ科学センター  
 参加者 17名  
 4)IPC クラス分けリサーチセンター視察  
 日程 平成31年3月17日(日)～21日(木・祝)  
 場所 オーストラリア/シドニー・ブリスベン  
 参加者 3名

【その他】

「プライドパラリンピアン リーダーハンドブック」の和訳  
 (今後のアスリート研修を実施するに当り、アギトス財団が実施する教育プログラム)

11. ジャパンパラ競技大会の開催

パラリンピックや世界選手権大会を目指すトップレベルの選手のために、引き続き国際組織のクラス分け・競技規則を適用したレベルの高い競技大会として、本年度は次の競技を実施した。また、東京2020大会での観客満員を見据えて、ジャパンパラ大会での観客増員を図った。

競技名	開催日	参加者等	場所
ウィルチェアーラグビー	平成30年5月24日(木) ～27日(日)	4カ国	千葉ポートアリーナ (千葉県千葉市)
	〈参加国〉日本・イギリス・スウェーデン・フランス		
陸上競技	平成30年7月7日(土) ～8日(月)	380名	正田醤油スタジアム群馬(群馬県前橋市)
	海外選手参加(一部招待)		
水泳	平成30年9月22日(土) ～24日(日・祝)	351名	横浜国際プール(神奈川県横浜市)
	海外選手参加(一部招待)		
ボッチャ	平成31年1月19日(土) ～20日(日)	3カ国	新宿コズミックセンター (東京都新宿区)
	〈参加国〉日本・韓国・カナダ		
ゴールボール	平成31年2月1日(金) ～3日(日)	4カ国	千葉ポートアリーナ (千葉県千葉市)
	〈参加国〉日本・ブラジル・トルコ・アメリカ		
アルペンスキー	平成31年3月27日(水) ～30日(土)	33名	白馬八方尾根スキー場 (長野県北安曇郡白馬村)

12. 競技別大会

競技団体との共催により次の大会を実施した。

- (1)かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン2018((公財)JKA 補助事業、IPC 公認大会)  
 開催期間 平成30年4月15日(日)

開催場所 川口運動公園をスタート・ゴールとする霞ヶ浦湖岸周回コース  
(日本陸上競技連盟公認)

参加数 視覚障がい男子 79 名、女子 33 名、計 112 名

(2)天皇杯 第 46 回日本車いすバスケットボール選手権大会

開催期間 平成 30 年 5 月 19 日(土)～20 日(日)

開催場所 武蔵野の森総合スポーツプラザ(東京都調布市)

参加数 8 チーム

(3)三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP 2018(車いすバスケ)

開催期間 平成 30 年 6 月 8 日(金)～10 日(日)

開催場所 武蔵野の森総合スポーツプラザ(東京都調布市)

参加数 男子 4 チーム(日本、オーストラリア、カナダ、ドイツ)  
女子 2 チーム(日本、オーストラリア)

(4)文部科学大臣杯争奪第 31 回日本車いすツインバスケットボール選手権大会

開催期間 平成 30 年 6 月 9 日(土)～10 日(日)

開催場所 アミューズ豊田(静岡県磐田市)

参加数 12 チーム

(5)2018 北九州ワールドパラパワーリフティング アジア & オセアニアオープン選手権大会

開催期間 平成 30 年 9 月 8 日(土)～12 日(水)

開催場所 北九州芸術劇場(福岡県北九州市)

参加数 200 名(29 カ国)

(6)ヒューリック・ダイハツ JAPAN パラバドミントン国際大会 2018

開催期間 平成 30 年 9 月 26 日(水)～30 日(日)

開催場所 町田市立総合体育館(東京都町田市)

参加数 106 名(15 カ国)

(7)ブラインドサッカー チャレンジカップ 2018

開催期間 平成 30 年 11 月 4 日(日)開催 14:00 キックオフ

開催場所 町田市総合体育館

参加数 日本代表、アルゼンチン代表(世界ランク 2 位)

(8)皇后杯 第 29 回日本女子車いすバスケットボール選手権大会

開催期間 平成 30 年 11 月 10 日(土)～11 日(日)

開催場所 グリーンアリーナ神戸(神戸市須磨区)

参加数 8 チーム

(9)天皇陛下御在位三十年記念 第 38 回大分国際車いすマラソン大会

開催期間 平成 30 年 11 月 18 日(日)

開催場所 大分市内公認コース(大分県大分市)

参加数 223 名(16 カ国)

(10)2018年WAS車いすフェンシングワールドカップ京都大会

開催時期 平成30年12月13日(木)～16日(日)  
開催場所 グランドプリンスホテル京都宝ヶ池(京都府京都市)  
参加数 選手178名(28カ国)

(11)天皇盃 第30回全国車いす駅伝競走大会

開催期間 平成31年3月10日(日)  
開催場所 国立京都国際会館前スタート  
→西京極総合運動公園陸上競技場ゴール 5区間 21.3km

(12)東京国際視覚障害者柔道選手権大会2019

開催期間 平成31年3月10日(日)  
開催場所 講道館新館(東京都文京区)

(13)IBSAブラインドサッカーワールドグランプリ2019

開催期間 平成31年3月19日(火)～24日(日)  
開催場所 品川区立天王洲公園(東京都品川区)

**アクションプラン5. 障がい者スポーツの国民理解の促進**

障がい者スポーツの広報

(1)インターネットメディアを活用した最新情報の提供

協会ウェブサイトやフェイスブック、ユーチューブ等のインターネットメディアを活用し、障がい者スポーツに関する国内外の最新情報を発信した。

(2)広報冊子等を活用した理解促進

季刊誌「No Limit」をはじめ、障がい者スポーツの歴史や現状、競技紹介・解説冊子等を作成・配布し、障がい者スポーツの理解促進に努めた。

(3)ジャパンパラ競技大会を活用した理解促進

大会の観戦誘致を行うとともに、観戦者に対して、場内アナウンスやガイドブックによる競技の解説、体験会、選手との交流会等を実施、障がい者スポーツの魅力を体感してもらった。

ジャパンパラ応援プロジェクト 障がい者アスリート交流キャラバン

(ウィルチェアラグビー) 平成30年5月16日(水)千葉県立天戸中学校  
平成30年5月17日(木)千葉県立誉田小学校

(4)メディア媒体との連携・協働による普及啓発

メディア媒体と連携・協働し、障がい者スポーツに関する情報の質を拡充した。

記者懇談会 平成30年9月6日(木) 14社30名参加

情報共有会 平成30年11月14日(水) 12社27名参加

(5)PRブースの出展

東京マラソン EXPO やスポーツ祭り、国民体育大会等のスポーツイベント会場にPRブースを出展し、障がい者スポーツの理解促進に努めた。

(6)障がい者スポーツ大会に連動したイベント開催

天皇杯第46回日本車椅子バスケットボール選手権大会との同時開催で、「共生社会」の

実現、パラスポーツの認知度向上、パラスポーツファンの増加を3つの目標として開催した。

内容は、パラスポーツの体験会や、障がい者施設などからの出展、パネルの展示など、共催であるテレビ局(番組)とも連動しながら行った。

期日:平成30年5月19日(土)~20日(日) 場所:武蔵野の森総合スポーツプラザ前広場

## アクションプラン6. 障がい者スポーツ支援体制の充実

### 1. アスリート支援事業

JPC 強化指定選手制度により認定された基準に基づき、強化指定選手の強化活動費等の支援を行った。

### 2. JOC アスナビ事業(トップアスリートのための就職支援ナビゲーション)への参画

JOC が実施する現役トップアスリートの就職支援ナビゲーション制度「アスナビ」に参画しとして、生活環境を安定させながら競技に集中したいと考える現役の競技活動に専念できる環境を整えるために、企業からの支援・採用を臨むトップアスリートと、それに理解を示す採用を検討する企業とのマッチングをサポートした実現させることを目的に実施した。

(1)採用実績累計 42名(平成31年1月時点)

#### (2)説明会

平成30年5月10日(木)味の素ナショナルトレーニングセンター

平成30年5月25日(金)味の素ナショナルトレーニングセンター

平成30年11月15日(木)ホテルニューオータニ

### 3. 女性アスリートの支援

女性アスリートの活躍を支援するためにJPC 女性スポーツ委員会にて、下記相談窓口や講義等を行った。

#### (1)ジャパンパラ競技大会「女性アスリート相談窓口」の報告

・平成30年7月7・8日 正田醤油スタジアム群馬

・平成30年9月23日 横浜国際プール

#### (2)第2回NFTレーナー会議での講義『コンディションに影響を与える婦人科の問題と対策』

期日 平成30年11月16日

場所 味の素ナショナルトレーニングセンター

#### (3)「JPC 医・科学情報サポート事業研修会 第3回複数領域型研修会」

女性アスリートの強化について～フィジカル・栄養・栄養の視点から～

期日 平成31年1月26日

場所 日本障がい者スポーツ協会

#### (4)障がい者スポーツ info『障がいのある女性アスリートを取り巻く環境と課題』

期日 平成31年3月6日

場所 ベルサール東京日本橋

#### (5)JPC 女性スポーツ委員会

第1回 日時 平成30年5月28日(月) 10:00~12:00

場所 日本障がい者スポーツ協会

第2回 日時 平成31年2月14日(木) 10:00~12:00

場所 日本障がい者スポーツ協会

## アクションプラン7. 財政基盤の充実・安定化

### 1. 国庫補助金と助成団体

事業実施に必要な体制整備のためには財政基盤の安定が不可欠であり、平成30年度も国、JKA、日本スポーツ振興センター、ミズノスポーツ振興財団及び石本記念デサントスポーツ科学振興財団に対し、障がい者スポーツの現況について、より理解を得るための働きかけを積極的に行い、必要な財源確保に努めた。

### 2. JPSAオフィシャルパートナー制度の推進

当協会が目指すビジョンに賛同し、障がい者スポーツの普及・振興施策に参画・協働するJPSA協賛企業の獲得に努めた。(32社、2019年1月末時点)

また、企業同士の情報共有、連携のため企業ミーティングを行った。

パートナーズミーティング(ディレクター)

平成30年5月15日(火) 28社55名参加

平成30年12月20日(木) 27社49名参加

パートナーズミーティング(エグゼクティブ)

平成31年2月20日(水) 28社53名参加

### 3. 民間資金の獲得

従来からのオフィシャルパートナー以外からの寄附など活動資金獲得に努めた。

### 4. 障がい者スポーツ指導者制度に係る認定登録システムの管理強化

障がい者スポーツ指導者の新規登録者及び、継続登録者の登録管理の充実を図った。

## アクションプラン8. 協会の組織体制の強化

東京2020オリパラ大会に向けて国民の注目が高まる中、各競技団体の強化費には多額の公金が投入されている。また、競技団体にはスポーツ基本法にも謳われているようにスポーツ団体としての透明性の確保や説明責任等の社会的責任が強く求められるようになり、適正な組織運営が益々重要となることから、スポーツ界におけるコンプライアンスの徹底について、関係団体に対し、文書により周知を行った。また、登録・加盟競技団体を対象にしたガバナンス研修会を開催し、競技団体に必要な会計の基礎知識と団体運営上の留意点を講義するとともに、法人格を取得していない登録・加盟競技団体に対して個別に法人化支援事業を実施した。

また、近年、スポーツ界において不祥事が頻発したことを受け、超党派のスポーツ議連で検討が重ねられ「スポーツ・インテグリティ確保に向けた提言」が取りまとめられた。この提言を受け、スポーツ庁は「スポーツ・インテグリティ確保に向けたアクションプラン」を策定、公表し、庁、日本スポーツ振興センター、日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、当協会の5者による「スポーツ政策の推進に関する円卓会議」を設置した。今後、円卓会議の下、スポーツ統括3団体は緊密な連携をとりながら、来年度スポーツ庁が定める「スポーツ団体ガバナンスコード」に基づき、競技団体に対する適合性審査を行うなどガバナンスの強化を図っていくこととしている。

## 1. スポーツ競技団体への法人化支援事業の実施

法人格を有していない登録・加盟競技団体に対する法人化を支援した。支援の要件としては、法人格取得を目指す意思がある競技団体であり、要望のあった 1 団体を対象に個別に法人化に関する相談会を実施した。

法人化支援団体 1 団体

## 2. スポーツ競技団体へのガバナンス研修会事業の実施

登録・加盟競技団体を対象に、会計と団体運営に関する研修を行うことによって、各団体のガバナンスの強化を図った。なお、なるべく多くの競技団体に参加してもらうため、同じ内容の研修を3回に亘り開催した。また、第3回目の研修会をまとめたものを競技団体限定で公開し、研修会に参加できなかった団体並びに繰り返し復習したい受講者に研修の機会を設けた。最終的に、79 団体中 49 団体(※)の出席があった。

※複数回に参加した団体は 1 団体としてカウント。

### (1) 第 1 回ガバナンス研修会

開催日時 平成 30 年 8 月 29 日(水) 10:00～17:00

場 所 日本障がい者スポーツ協会 会議室

概 要 ・会計・監査について  
・選手選考について  
・SNS の活用とその注意点について

参加団体 23 団体

### (2) 第 2 回ガバナンス研修会

開催日時 平成 30 年 11 月 13 日(火) 10:00～17:00

場 所 日本障がい者スポーツ協会 会議室

概 要 第 1 回と同内容

参加団体 19 団体

### (3) 第 3 回ガバナンス研修会

開催日時 平成 31 年 1 月 27 日(日) 10:00～17:00

場 所 日本障がい者スポーツ協会 会議室

概 要 第 1 回と同内容

参加団体 18 団体

## アクションプラン9. 東京2020大会に向けた活動

### 1. 東京 2020 特別強化委員会の活動

(1) 東京 2020 大会の成功の大きな柱の一つである、「日本代表選手団の大活躍、金メダルランキング 7 位」という目標を達成するため、その目標達成に最終責任を持つ JPC 内に、2020 年東京大会に向けた強化戦略策定・実行に特化した司令塔として平成 29 年 1 月に設置した「東京 2020 特別強化委員会」について、来る東京大会での金メダル獲得に向け、特別強化指定選手を選出し、各選手の要望に沿った支援策を検討・実施した。

特別強化委員会

第 6 回 平成 30 年 5 月 31 日(木)

第 7 回 平成 30 年 9 月 3 日(月)

第8回 平成30年12月17日(月)

第9回 平成31年3月13日(水)

## 2. 会場満員に向けた取り組み

東京2020大会における会場満員を達成するために、国民の障がい者スポーツへの理解、促進のための体験会やフェスティバル事業などの、各種取り組みを行った。

## 3. その他

東京2020大会開催に向けた準備が加速する中、今年度も組織委員会主催の理事会等の各種会議へ委員として、また大会調整委員会、プロジェクトレビュー等へオブザーバーとして参加した。

## その他

### 1. スポーツ庁及び日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会との連携強化

- (1) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2019(スポーツ庁主催)
- (2) 生涯スポーツ推進委員会(日本スポーツ協会主催)
- (3) 全国スポーツ指導者連絡会議(日本スポーツ協会主催)
- (4) 文部科学省障害者スポーツ推進タスクフォース(スポーツ庁主催)
- (5) TAFISA コングレス2019 実行委員会(日本スポーツ協会主催)
- (6) 総合型地域スポーツクラブネットワークアクションへの支援(日本スポーツ協会主催)
- (7) ジャパンスポーツフェスタ……(日本障がい者スポーツ協会主催)
- (8) スポーツ庁、日本スポーツ協会各種会議への参加・参画
- (9) ジャパン ライジング スター プロジェクトへの参画

### 2. 会議開催等

- (1) 平成30年度三協議会(障がい者スポーツ協会協議会、障がい者スポーツ指導者協議会および障がい者スポーツ競技団体協議会)会議・情報提供事業の開催

#### 1) 合同会議

日時 平成31年3月5日(火)12:00～15:30

場所 ベルサール東京日本橋

#### 2) 障がい者スポーツ info2019

日時 平成31年3月6日(水)10:00～12:00

場所 ベルサール東京日本橋

- (2) 理事会・評議員会の開催

#### 1) 評議員会

##### ○ 定時評議員会

日時 平成30年6月21日(木)13:30～15:30

議題 平成29年度決算報告書(案)について

##### ○ 臨時評議員会

日時 平成30年11月15日(木)13:30～15:30

議題 評議員の選任(案)について

理事の選任(案)について

## 2)理事会

### ○定例理事会

日時 平成30年6月6日(水)13:30~15:30

議題 平成29年度事業報告(案)について

平成29年度決算報告書(案)について

日本パラリンピック運営委員会委員の委嘱について

平成30年度公益財団法人JKA競輪補助事業の受託(案)について

### ○定例理事会

日時 平成30年9月26日(水)13:30~15:30

議題 評議員の選任(案)について

理事の選任(案)について

日本パラリンピック委員会運営委員の委嘱について

平成30年度臨時評議員会の招集(案)について

### ○定例理事会

日時 平成30年12月12日(水)13:30~15:30

議題 報告事項のみ

### ○定例理事会

日時 平成31年3月19日(火)13:30~15:30

議題 平成31年度事業計画(案)について

平成31年度収支予算(案)について

平成31年度定時評議員会の招集(案)について

## (3)アクションプラン推進会議

平成30年5月30日(水)

## (4)専門委員会(技術委員会・医学委員会・科学委員会)の開催

### 1)技術委員会

※全体会議なし

○代表者委員会 平成31年2月5日(火)

### 2)医学委員会

第1回 平成30年6月24日(日)

### 3)科学委員会

第1回 平成30年4月14日(土)

第2回 平成30年12月21日(金)

第3回 平成31年2月5日(月)

## (5)表彰等

### 1)会長表彰等(特別功労章、功労章、特別賞、感謝状)

日時 平成31年3月5日(火)16:00~17:00

場所 ベルサール東京日本橋

### 2)その他の顕彰

○勲章・褒章 スポーツ振興功労者等 平成30年11月12日(月)

### ○文部科学大臣表彰

スポーツ功労者顕彰等 平成30年7月31日(火)

障害者の生涯学習支援事業 平成30年12月4日(火)

(6)障がい者スポーツ指導者協議会

運営委員会、研修部会、情報部会、指導部会、トレーナー部会の開催

1)運営委員会

第1回 平成30年5月14日(月)

第2回 平成30年11月12日(月)

第3回 平成30年3月5日(月)

2)研修部会

第1回 平成30年6月3日(日)

第2回 平成30年10月8日(月・祝)

第3回 平成31年2月24日(日)

3)情報部会

第1回 平成30年6月4日(月)

第2回 平成30年10月23日(火)

第3回 平成31年2月5日(火)

4)指導部会

第1回 平成30年5月30日(水)

第2回 平成30年11月1日(木)

5)トレーナー部会

第1回 平成30年11月16日(金)